

<オプトアウト>

肺癌に対する放射線療法における、治療効果向上と有害事象(副作用)低減を目的とした、予防的リンパ節照射の意義、並びに呼吸停止照射法の有用性に関する検討

<研究の内容、方法、使用するデータ>

この研究は、2009年1月1日～2022年8月31日に、奈良県立医科大学附属病院で、肺癌に対し放射線治療を実施した患者さんを対象としています。

現在、肺癌に対する放射線治療においては、原発巣に加えて、転移がない場合でも予防的に縦隔リンパ節領域に対しても照射を行っているのが現状です。ただ近年は、海外を中心にリンパ節照射が必ずしも有益ではないとする報告も存在します。有害事象(副作用)に関しても、予防的リンパ節照射を行うと照射野が広がるため、治療後の有害事象による生活の質の低下が問題となることがあります。

そこで当院において通常施行している予防的リンパ節照射の意義、抗腫瘍効果、縦隔リンパ節の再発率や生存率について調べ、検討します。また、有害事象低減のために施行している、吸気での息止め照射法の意義についても、治療後に発生した有害事象の重症度との関連を調査します。

本研究は、本学附属病院において実際に既に行われている診療内容について調べるものであり、個々の患者さんの治療や検査などに影響を与えることはなく、研究のために新たに治療や検査を行うこともありません。

また、本研究の資金は講座研究費および科学研究費補助金を使用し、本研究の研究者や本学附属病院と、資金源との間にはどのような利益相反(利害関係)も存在しません。

本研究は奈良県立医科大学 医の倫理審査委員会による承認、学長による許可を得た上で実施する研究であります。

<個人情報保護の保護>

検査、治療はいずれも当院の日常診療で行われている項目であり、この調査のための新たな検査・治療などはありませんが、必要に応じて、放射線治療計画の画像や治療効果判定に用いた画像のデータなどを個人名がわからないようにして(匿名化)検証します。患者さんの個人情報を含むファイルは暗号化した上で厳重に管理し、集められたデータから患者さんが特定できないよう配慮します。氏名が外部に漏れることは絶対にならないよう十分注意して行い、プライバシーの保護について細心の注意を払います。

データの使用にあたっては、患者さんおよびご家族に不利益などが一切生じないよう、以下のことを厳守いたします。

- ・ 医学研究以外には使用しない。
- ・ 患者さんおよびご家族の氏名は公表しない。個人情報は厳密に守秘する。

- ・研究結果は学会、研究会、学術論文以外では発表しない。

<研究への不同意の場合などの連絡先>

ご自分のデータをこの研究に使用して欲しくないとお考えの患者さんあるいはそのご家族は、以下の連絡先までご連絡をお願い申し上げます。

研究責任者：奈良県立医科大学附属病院 放射線治療・核医学科 講師 三浦幸子
(部長 長谷川正俊)

住所：〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840

電話：0744-22-3051 (代表)